

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度 第1回坂戸市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和6年7月25日（木） 開会：午後2時00分 閉会：午後3時03分
開 催 場 所	坂戸市役所 303・304会議室
議長（委員長）	横田 政行
出 席 者	北原 文子、菅原 繁子、本橋 一夫、市川 なお美、 三宅 裕美子、田中 映子、鹿ノ戸 久美子、久保田 美穂、 杉田 義昭、加藤 拓、小川 孝、横田 政行 12名出席
欠 席 者	田中 孝次、石橋 妙子、金丸 行男 3名欠席
事 務 局	太田教育長、三田教育部長、 小林図書館長、佐藤スポーツ推進課課長補佐 菅野社会教育課長、神社会教育課課長補佐 瀧嶋社会教育課主任 7名出席
会 議 次 第	別紙のとおり
配 布 資 料	別紙のとおり

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局 教育長	委嘱状交付（代表して1名に交付）
司会（事務局）	1 開 会
教育長	2 あいさつ 御多用の中、そしてお暑い中、出席をいただき感謝する。 本日、委嘱状を交付した。今年度、第1回目ということで、

	よろしくお願いいたします。 さて、安定してきたと思っていたコロナが、またここで流行しているようで心配であるが、おかげさまで、令和6年度の社会教育関連事業については順調なスタートを切っている。 コロナがあり、いろいろな問題があったり、また、乗り越えてくる中で、これまでと違ったことも出てきている。一例として、単位PTAの解散なども挙げられるが、学校応援団やボランティアなどを中心に、新たな取組みが進められている。このことを含めて、今までと違った形を見出していることも、そして、今までの大切なことも継続することで、教育の不易と流行を考えていくという段階にきているのではないかと思う。 今、実施していることに対して、工夫できることは何かということ、皆様の力をお借りしながら、市民が「坂戸に住んで良かった」という思いを持ちながら生活ができるよう、今年度も事業等を進めていきたいと思う。 事務局として尽力していくので、皆様の力を貸していただきたい。よろしくお願いいたします。
各委員	3 自己紹介
司会（事務局）	資料確認
（座長：教育長） 事務局	4 委員長・副委員長等の選出 坂戸市社会教育委員会議規則第2条第2項に委員の互選によるとある。
座長	どのような方法がよいか。
委員	推薦でお願いしたい。 現在、委員長として御尽力されている横田委員、同じく副委員長として御尽力されている田中委員を推薦する。
座長	異議はあるか。
委員	異議なし。

司会（事務局）	横田委員長にあいさつをお願いします。
委員長	委員長として、3期目となる。委員長時代に「これができた」ということが何もないので、残りの2年間で少しでも坂戸市のためにお役に立てればと思う。よろしくお願いします。
司会（事務局）	田中副委員長にあいさつをお願いします。
副委員長	社会教育委員を20年近く務めている。 滋賀県で生まれ、滋賀県で育ち、結婚して坂戸市にきた。何も分からない坂戸市だったが、住めば都で、いろんなところで遊ばせてもらい、いろんなところに参加させてもらったので、恩返しということで、気が付くところはこのような場で意見していけたらと思う。皆さんとともに副委員長として頑張っていけたらと思う。よろしくお願いします。
司会（事務局）	初めて委員となる方もいるため、社会教育委員の概要について事務局から説明する。
事務局	（資料に沿って説明） 社会教育法第17条における、社会教育委員の職務として、 ・社会教育に関する諸計画の立案 ・社会教育委員会議での教育委員会からの諮問に対しての意見 ・必要な研究調査 ・社会教育関係団体等への助言・指導 となっている。 任期は2年となるが、坂戸市の社会教育の一層の充実に向け、社会教育委員の皆様からのご意見をいただきたい。よろしくお願いします。
事務局	5 協議事項 （1）入間地区社会教育協議会役員等の選出について （資料に沿って説明） 社会教育委員の皆様には、入間地区社会教育協議会の役員をはじめとした、社会教育に関連がある役職をお願いしている。

	今回、委員が改選となったが、継続いただいている委員の皆様については現在の役職を引き続き担っていただき、坂戸市人権教育推進協議会委員については、新しく委員になられた本橋委員にお願いしたい。
議長（委員長）	事務局案に異議はあるか。
委員	異議なし。
議長（委員長）	決定した。各委員にはよろしく願います。
事務局	(2) 令和6年度社会教育関連事業計画について (資料に沿って説明) 社会教育課では、生涯学習・社会教育・文化財保護、青少年育成の各種事業を行っている。 文化財保護の事業として、「第2回坂戸のまつり」が、8年ぶりに開催となる。坂戸の文化財を一堂に介したまつりであり、神楽・囃子・獅子舞・くどき等の上演や、山車の曳き廻し等を行う予定でいる。 また、小学生をはじめとした子どもたちに、坂戸の文化にふれてもらえるような体験ツアーなどを企画している。 地域交流センターは、令和6年4月1日から全公民館が交流センター化したが、人権講座をはじめとした社会教育事業については、引き続き行っている。 図書館、スポーツ推進課においても各種事業を展開しており、社会教育の推進に努めていただいているので、ぜひ委員の皆様から令和6年度事業について御意見をいただきたい。
議長（委員長）	事務局案に意見はあるか
委員	特になし
議長（委員長）	委員の方から協議事項があるか
委員	特になし

事務局	6 報告事項 (1) 令和6年度社会教育委員研修会等について 研修会等の参加状況として、 ・入間地区社会教育協議会理事会及び総会 令和6年5月14日（火）に、ウェスタ川越で開催され、小川委員に参加いただいた。 ・社会教育委員部会については、 第2回まで終了している。今後の予定は、 第3回 9月24日（火）、第4回 11月19日（火） 第5回 2月21日（金） である。 - 研修会等の予定として、 ・入間地区社会教育委員研修会 令和6年10月16日（水）に、富士見市民文化会館キラリ☆ふじみにて開催されるので、多くの方に御参加いただきたい。 ・全国社会教育研究大会及び関東甲信越静社会教育研究大会 令和6年10月24日（木）～25日（金）に、茨城県水戸市で開催される。旅費等は予算化していないが、希望がある場合には、事務局に連絡をいただきたい。 ・入間地区生涯学習フォーラム 令和7年2月4日（火）に、富士見市民文化会館キラリ☆ふじみにて開催される。 ・坂戸市人権教育実践報告会 令和7年2月7日（金）に、入西地域交流センターにて行う。 ・坂戸市人権教育推進協議会・青少年育成坂戸市民会議合同講演会 秋草学園短期大学学長の北野大氏をお招きし、9月26日（木）に開催する。ぜひ、参加をお願いしたい。 ・第27回坂戸市埋蔵文化財出土品展 7月31日（水）から8月6日（火）まで行う。8月3日（土）4日（日）には、昨年度好評だった、学芸員によるギャラリートークもある。ぜひ、多くの方に参加をお願いしたい。 (2) 令和6年度家庭教育学級支援研修会の結果について 坂戸市家庭教育アドバイザーの会に依頼し、PTA役員
-----	--

委員	を対象に、「親の学習」を体験し、家庭教育の重要性を再認識するということを目的とした研修会を6月18日（火）に、入西地域交流センターにて実施した。本間先生、鹿ノ戸先生、岡本先生、三鍋先生の4名に講義をいただき、PTA 役員24名の方の参加があった。アンケートについては、後ほど確認をお願いしたい。 ここで、当日講師をしていただいた鹿ノ戸委員よりひとことお願いしたい。 テーマについては、家庭教育アドバイザーに一任いただいております、昨年度は、「ゲームと上手につきあうコツ」ということでお話しさせていただいた。 今年度は、県のプログラムを活用し、「親の思い、子の心」と題して実施した。講義後に、家庭での子どもとの関わりなど、保護者でグループを作り話し合いを行ったが、結果としては、和やかに話し合いができていたと感じた。 子育ての根本は変わらないと思うが、保護者の考え方が変わってきていると感じているので、家庭教育アドバイザーとしてもますます勉強しなければいけないと感じた。
事務局	(3) 令和6年度学力のびのび塾の実施状況について 市内の小学4年生及び5年生を対象に、学力のびのび塾を開催している。 国語、算数の2教科について、前学年（4年生は3年生、5年生は4年生）のドリルに取り組み、分からないところを学習支援員に聞きながら、自分のペースで学習を進めている。 地域交流センター等を実施会場として、実施しており、各会場年間19回のスケジュールの予定で実施する。 (4) 令和6年度子ども大学にしているまの実施について 城西大学、明海大学、日本医療科学大学、坂戸市、毛呂山町の5団体で実施している。『いい塩梅の化石講座～恐竜時代の琥珀アンバーを見つけよう～』『超低温の世界～196℃のバナナは釘が打てる～』といった内容で、毎年、子どもたちから大変好評をいただいております、今年度も25名定員のところ50名以上の希望があった。抽選を行い、坂戸市からは17名の参加となっている。

	(5) 埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会の加入について 坂戸市社会教育委員会議は、入間地区社会教育協議会に属しており、その上部団体として、埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会という組織があるが、昨年度、入間地区社会教育協議会の中で、埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会に加入せず、入間地区内で研鑽及び情報交換を充実させていきたいとの意見があり、話し合ってきた。 令和6年5月14日(火)に開催された入間地区社会教育協議会総会において、今年度から埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会には入間地区社会教育協議会は加入しないとの議決がされたので、報告する。 埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会に加入しないことによる影響として、毎年5月頃、嵐山町の女性会館等で開催される研修への参加ができなくなるが、そのかわりに、入間地区社会教育協議会で実施している研修をより充実させていく。 (6) 第23回坂戸市民スポーツフェスティバルの結果について 令和6年4月29日(月)に、市民総合運動公園及び勝呂地域交流センターを会場に開催した。 参加者数が4,515名と昨年度より減っているが、開催日が3連休の最終日だったことも要因のひとつであると思われる。 救護報告については、小学生が転倒し、擦過傷を負ったため処置したものであり、事故報告はなかった。 また、今年度は、会場内での飲食を解禁し、できるだけコロナ禍以前に戻した形で実施した。 来年度は来場者の増を見込めるような内容を検討していきたい。 (7) 第41回坂戸市レクリエーションスポーツ大会の結果について 令和6年6月2日(日)午前9時30分開会、午前11時45分終了となった。 会場については市民総合運動公園の相撲場脇の芝生で行う予定であったが、当日の明け方まで降雨があり、小体育室に変更して実施した。 種目については、本年度より、新たな種目であるモルック
--	---

	を実施した。モルックは、フィンランド発祥のスポーツで、木製の得点の書かれた12本のスキttlと呼ばれる的に対し、3～4メートル離れたところからモルックと呼ばれる棒を下投げで投げ、倒れたスキttlの本数や、スキttlに書かれた点数により得点を競うものである。 近年、テレビ放映を機に人気が高まっており、参加者に応募のきっかけを聞いたところ、「テレビで見て、おもしろそうだったのでやってみたかった」という回答があった。 参加者数については、56名で、うち一般の申込者が19名と多くの応募があった。 日程については、別紙のプログラムのとおりであり、3チームのリーグ戦で試合を行い、各リーグの1位のチームで決勝トーナメントを行った。 初めてでも楽しめて差がつきにくく、計算をするために頭を使うということから「また参加したい」という意見を多くいただいたことから、レクリエーションスポーツ協会では、今後、モルックの普及に力を入れていく。 (8) 第2回坂戸市パラスポーツふれあい交流会の結果について 令和6年6月9日(日)午前9時30分開会、正午に終了となった。 会場については、市民総合運動公園の大体育室、小体育室及び剣道場である。 当日の天候はくもりであり、あまり気温が上がらなかったもので、事務局としては一安心であった。 昨年度の反省を活かし、風船トス、的あてゴルフ、玉入れ等、誰でも簡単にできる種目を採用したほか、昨年度と同じくボッチャ、フライングディスク、シッティングバレーボールの計6種目を実施した。 また、最後に参加者全員でフォークダンスのマイム・マイムを踊り、終了となった。 実施結果のうち、参加者については、坂戸市障害者団体連絡会の構成団体12団体で、聴力障害者の会、視覚障害者の会、ぽてとto地域福祉の会、たけとんぼ、うさぎとかめ及び勝呂福祉作業所より事前申込みが62名であった。昨年度は32名であったので、今年度は多くの参加があった。 また、一般(個人)参加者は、当日受付をした人数となっており、合わせて78名参加、役員及び来賓と合わせて総勢
--	---

	142名で実施することができた。 けが人や病人はなし。 来年度以降も実施をするにあたり、種目の選択について障害者団体連絡会の意見を聞きながら検討していきたい。 (9) 第37回県民総合スポーツ大会兼第9回坂戸市ラケットテニス大会の結果について 令和6年7月7日(日)、市民総合運動公園大体育室にて実施した。教育委員会主催の事業であり、スポーツ推進委員が主管として実施している。 参加チーム数は18チームで、80名の参加があった。昨年度より、6チーム増となっている。 18チームを6つのグループに分け、リーグ戦を実施した。各ブロックの1位のチームに賞状及び記念品を授与した。 熱中症が心配されたが、負傷者等もなく無事、終了することができた。 (10) 市民プールの休止について 令和2年度から令和4年度まで、新型コロナウイルス感染症の影響により、休止していた。しかし、コロナ以前から老朽化が懸案事項となっており、毎年、多額の修繕料をかけて開設準備を行っていた。丸4年間、開設することができず、老朽化がより顕著な状況となってしまったため、令和5年度に引き続き、休止とすることとなった。 (11) 第11回坂戸市図書館を使った調べる学習コンクールについて 図書館の資料をはじめ、様々な情報を調べる学習を通じて、児童が自ら考え、判断し、表現する力を育む。また、その活動を通して坂戸市の公共・学校図書館での調べ方を体得し、有効に活用する力を養うことを目的として、毎年開催し、今年度で11回目を迎える。 募集期間は令和6年9月3日(火)から9月10日(火)までとし、各小学校でとりまとめ、中央図書館への提出をお願いしている。 対象は小学校3年生から6年生までとし、グループでの参加も可能である。 図書館を使った調べる学習コンクールの応援講座を7月
--	--

委員 委員長 委員 事務局	30日（火）に開催する。また、城西大学水田記念図書館に協力をいただき、作品が完成するまで、大学生によるワークショップを行う。 報告事項について、質疑等はあるか。 入間地区社会教育委員研修会が10月16日（水）に予定されている。多くの委員の皆様に参加いただきたい。 その他として、委員の方から報告事項があればお願いしたい。 意見なし 6 その他 （1）第2回坂戸市社会教育委員会議の日程について 今回は、10月10日（木）午後2時から、坂戸市役所にて予定している。開催通知を9月に送付するので、よろしくお願いしたい。 （2）社会教育委員会議の報酬等について 会議出席に際しての報酬及び費用弁償の支出について記載した資料を配布しているので確認をお願いしたい。 8 閉 会
---	--